



会報

昭和55年春季

NO. 14



社団法人 全国建設機械リース業連合会

日車 サリスクリュー

防音型コンプレッサー

PS-35S

PS-50S

PS-105S



総代理店
日熊工機株式会社
東京都中央区八丁堀1-11-5 TEL 552-9551

発売二年余

着実に実績を伸ばしています。白地にグリーンラインの日車防音型スクリー・コンプレッサーPSシリーズどこまでも静かです。一度お試しください。



NISSHA-SULLISCREW

PHOTO NEWS

(社)全国建設機械リース業連合会第七回定期総会

5.5.28 連合会会議場

※記事・報告は次回第15号に掲載します



山内会長挨拶



来賓祝辞
建設省 大臣官房建設機械課
海老原課長補佐



中村副会長



阿部副会長



永田副会長

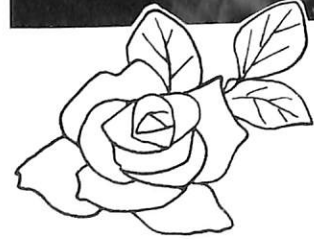


乾杯 坂井副会長

PHOTO NEWS



日本重機械リース業協会創立十周年記念式典 祝賀会



55. 5. 29
竹橋会館

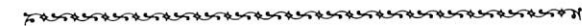


PHOTO NEWS



山内会長快気祝

55. 5. 12 帝国ホテル



香取専務理事

叙勲記念に寄贈

確かな技術と信頼の... **クボタ建設機械**



現場からの証言
頑張るやつ。

発売数カ月。リース業界で注目を集める2機種。KH-5Hは世界最小の全旋回として、小規模土木や造園・果樹園作業に大活躍。スコップがわりに手軽に使い、側溝掘も自在です。またKH-11Hは、パワー、メカ、作業範囲……

すべてにこのクラス最大級の仕様を備え、幅広い作業を迅速にこなします。小型バックホーのイメージを変えた話題の2機種。確かな技術のクボタが、自信を持っておすすめします。

世界最小の全旋回

KH-5H

バケット容量
標準0.05m³
最大掘削深さ
1,650mm
エンジン出力
10ps
機械重量
1,000kg
※ゴムクローラの
KH-5HGもあります。



高作業性・低騒音

KH-11H

バケット容量
標準0.11m³
最大掘削深さ
2,590mm
エンジン出力
22ps
機械重量
2,900kg
※キャビンタイプの
KH-11Iもあります。



クボタ全旋回バックホー

ゆたかな人間環境づくり

久保田鉄工株式会社

●カタログのご請求およびお問い合わせは、右記へ—東京本社建設機械営業部 東京都中央区日本橋室町3丁目3番2号 〒103 ☎03(279)2111

連合会議事録

第16回理事会

会報第14号

目次

PHOTO. NEWS

第七回総会	1
日本重機械リース業協会10周年	2
山内会長快気祝他	3
第16回理事会・青森	5
第17回理事会・熱海	11
管理基準策定・企画合同委員会	17
物価騰勢・料金適正化運動	20
編集後記、事務局よりお願い	26



1. 日時 昭和54年9月6日
PM14:30-PM17:30
2. 場所 青森県三沢市 古牧グランド
ホテル

3. 参加人員 59名

内訳

理事出席13名、代理5名、
委任状11名、監事出席2名、
会員出席30名、本部事務局1名、
招待者8名、

4. 司会者 青森県建設機械リース業協会専務理事 川村 雄蔵
5. 成立報告 香取専務理事
定款23条による定足数、理事会成立については、本人出席13名、代理5名(委任状)欠席11名(委任状)であり、2分の1以上の出席者を得たので、本理事会は成立と認められます。

6. 開会挨拶 青森県建設機械リース業協会

会長 高橋 弘一

本日は、全国の第16回理事会を青森県三沢市で、全国各地から多数参集して頂き、開催させて頂きました。非常に光栄に感じております。理事会開催が始めてであり、皆様方にご迷惑をおかけする点が多々あるのではないかと存じます。

国内事情にもきびしい事情にあり、この様なときに、理事会を開催するに当りましては、会員の十分な協力によりまして、手配は致しましたつもりではありますが、不十分な点が多々あるかも知れませんがご承頂けるなら幸いです。

なお、今、明日の会議は実りある会議でありますよう折念致しましてご挨拶と致します。

7. 会長挨拶 日本重機械リース業協会

会長 藤井 孝治(代)

第16回理事会を、青森県協会の心からなるご設営により、祭魚洞古牧温泉にて開催するに当り、はからずも病欠欠席の止むなき事態となり誠に遺憾の極みであります。連合会も10周年の足跡の回顧と共に新しい10周年の初期の重大なる会議を、東北サミットとも言うべく、

- ① エネルギー問題の再燃と対処策
- ② 安全衛生法強化に伴う自主検査の普及活動
- ③ 業種指定と登録制度推進に伴

り財務内容の確立、

その他重要条件については、リース連合会ならではの実力者メンバー揃いの担当各位にご審議、ご決議すべておまかせ申し上げる次第で、放念申し上げるものであります。なお、また、今週中にも衆議院解散の予定とともに政策の重大転換期に入り、来年7月参議院選挙の見通しであり、エネルギー問題、インフレーションの再燃と金融引

締強化、財政再建のための何らかの増税等、各省庁予算の削減等、55年以降も厳しい政策とともに低成長経済時代に入って参るのではなからうかと思えます。当業界は、従来何型指導の政策にも堪えられる企業努力と経験を十分に積んでおりますが、いかなる時代にも、企業の競争はあっても「自滅につながる過当競争は絶対にあってはならない」

の鉄則を守り、会員各位の繁栄を祈念し、メッセージにかえさせていただきます。

この、東北サミットを機会に協会成立、不成立にかかわらず東北六県の緊密なる協力ご発展を期待申し上げます。

(このあと、会長の病状説明がありました)

8. 議長選出

司会 川村 雄蔵

山内会長が病欠入院のため、欠席されましたので、副会長であります、宮城県の阿部会長を議長に選任させていただきます。

(満場一致で了承)

9. 議長挨拶 宮城県建設機械リース業協会

会長 阿部 喜一(全国副会長)

山内会長が病欠のため、代理議長としてつとめさせていただきます。ご協力を願います。

議事録署名人選任

東京 三瓶 徳司理事

大阪 岩崎 昇理事

を選任したいと存じます。(満場一致で了承)

10. 議案

報告事項

議長 報告事項を先きに進めていただきます。

- (1) 建設機械・資材の基本管理基準策定経過報告について

坂井委員長

会報、その他数次の会合により、全建リース連のリース業者として保守管理の充実を期することから、管理基準の策定が急務であることから進め、今日に至ったもので、各地区協会皆様のご協力のおかげであります。

詳細は策定委員長より願います。

後藤策定委員長

詳細につきましては、お手元のプリントの通りであります。要は、労働安全衛生面における災害防止のため、機械・資材の保守点検、整備の万全を計り、安全操業の必要な基準を定め、連合会員の質の向上を計るためである等、プリント説明を行ない、今後一層の協力を依頼した。

(共に満場一致で了承)

このあと、特別招待者の紹介が川村司会によって行なわれました。

おくれましたが、オブザーバーとして、秋田、山形、岩手の方々が出席されていますので、ご紹介いたします。秋田の方どうぞ。秋田のユニオン建機(株)の佐藤氏、建設機械産業の竹田氏、(株)秋田クボタの児桜氏、秋田建設機械サービス(株)の鈴木氏、斉勇物産(株)の斉藤氏、(有)北沢機械の近藤氏よりそれぞれ自己紹介があり、「本日オブザーバーとして招待をいただき有難うございました。盛大な理事会を拝見し、力強さを感じました。私どもも一日も早く結成して皆様の会に参加出来ますよう地元に戻り回りたく存じますのでよろしく願いいたします」との挨拶があった。

岩手の方どうぞ

「岩手県三洋機械(株)の駒井です。

本日は、オブザーバーとしてご招待いただき本当に有難うございました。岩手県も十分な活動はいたしていませんが、地区に戻り、業者と相談したいと思います。今後ともよろしくご指導下さい」

山形の方どうぞ

「山形セントラル(株)の石井です。

宮城県に加入しております、阿部会長から、オブザーバーとして出席し、業界のことを勉強するよう言われ参加致しましたものです。今後ともよろしくご指導をお願いします」

- (2) 近促法業種指定(登録)申請経過報告について

志茂 業種指定委員長

数席にわたる委員会により審議決定を見たものを、建設省に申請中でありまして、建設省においても関係省庁と数日にわたり審議を重ねており、つめの段階まで進んでい

るようであります。

別添①過当競争に入った要因

②共同保有の必要性

③修理点検用試験機器装置…開発について、建設省よりそれぞれ追加質問あり、坂井委員長のご協力によりデータを作成いたしました。これに内容報告をいたしております。

9月項審議を終り、10月～11月項の見通しで、明年3月項発表段階となるのではないかと予想されております。

以上簡単ですが経過報告といたします。

(満場一致了承)

坂井委員長より別紙作成についての説明あり(了承)

(3) 軽油燃料問題実態調査経過について

坂井 企画委員長

当連合会でも一部会員のうちには、他地区に出張された場合、希望する軽油を取引がないということで、半減される等のあることがあり、さらには東京サミットと期を同じくしてオペック総会で原油価格の引き上げ、第2次オイル節減ショック時代に突入した感があります。

東京トラック協会は、通産省、資源エネルギー庁に対し陳情を行なった等より、我々リース連合会においても前述の事情で、実情の調査を行なっておりますので、全会員の方が提出して下さるようご協力をお願いします。特に100%近い提出がされますようお願いする次第です。

(10月1日現在で、64%提出中=提出472、会員数737)

(4) 連合会PR用パンフレットの編集経過について

坂井 企画委員長

作成準備はすでに完了しております。内容につきましては、回覧致します。せっかくでありますので、この際近促の業種指定が認可になり次第加入作成したいと考えております(あとから別途作成するのでは大変なので)のでご了承いただきたいと存じます。(満場一致了承)

(5) 会員名簿、会報作成経過について

本部 香取 専務理事

中村広報委員長が、ご都合でこの理事会を欠席されましたので、代ってお伝えいたします。会報につきましては、10月中にお手元に届きますよう製本を急がせております。会員名簿につきましては、B5版型横型とし、各地区の会員方につきましては、会社名、代表者名、電話、郵便番号、住所、保有機種5機種以内記入(前回と同じ)することとします。別に調査表を作成して皆様に依頼する予定であります。これを11月中旬に各地区協会で集めていたとき、本部に11月中旬頃までに一括回送していただくことをお願いします。完成は、昭和55年2月を予定しています。これが編集作成につきましては、中村広報委員長に一任させていただきますければ幸いです。

(満場一致、一任の件を了承)

(6) 建設機械器具賃貸業等実態調査票について

後藤 委員長

「建設機械器具賃貸業等実態調査票」による調査依頼が、建設省よりお手元に届いていることと思います。

5年程前に実施されたことありますが、今回はそれをさらに充実したものとすることを望んでいます。

最近、建設業界における機械賃貸業のしめ

る地位は、重要性を増していることはすでにご承知であると思います。

今回の調査は、連合会会員の実態を把握するために行われるもので、これにより建設省の本格的な行政指導に入るものと思われまます。調査期の提出期日は、9月15日ですが、100%提出されることを望み、各地区の十分なお協力をお願いしてやみません。なお、賃貸料金の原価内訳について、連合会の標準的計算はつぎのとおりです。

<諸機械平均>

償 却 25.5%～27.5%

維持費 27.5%～29.5%

機械管理費 15.5%～17.5%

その他 27%～28%

以上計 100%

合計が100%になる様にそれぞれの企業に合わせた数字でお願いします。

オペレータについては、技術料(経費)としてお願いしたいと思います。業積指定申請に当り、通産省、建設省の共管になると困ります。重ねてお願いしますが、100%提出されるようご協力下さい。

(満場一致了承)

(7) 建設機械・消耗部品損耗費調査について

志茂 委員長

建設省建設機械課から、当連合会に調査依頼のあったもので、部品については、該当するもの、しないものもあると思いますが、是非それぞれ記載していたとき、期日までに提出してほしいとのことでありました。

(満場一致了承)

(8) 特定自主検査の実施状況と全国普及活動について

東京 三瓶 理事

お手元の「特定自主検査の手引き」のお

りでありまして、東京の例で申しますと、8月6日・7日、8日・9日の2回にわたり実施しました。

資格等は案内書の通りです。

全国各支部で実施している建設機械整備技能検定試験合格者は、事業内検査者の研修を受けなくても資格を有するものとみなされています。

各地区におかれては、各県の労働基準局安全課に相談され実施するよう進められてはいかげでしょうか。これは、あくまでも事業内検査者研修でするので間違いのないようお願いいたします。

(満場一致了承)

(9) その他 伝票処理上の問題点について

青森県 ユニオン建機

契約書に印紙を貼るよう税務署が来られた時に言われたが、一般的に契約書に印紙貼布はやむを得ないとの結論となりました。連合会の統一契約書の作成をあまり細かく入れないようにしてほしい。(了承)

議案審議

(1)と(3)の議案である<財源確保の件(業種指定・登録等推進活動強化を固める)>

<連合会事務局強化策ならびに財源捻出について>の2件を併せて審議

坂井 委員長

(1)と(3)は同一内容なので、まとめて説明します。

別添の社団法人全国建設機械リース連合会、運営体質強化資金の財源確保について、を詳細説明、特に3項の「財源確保なくして本対策の推進は不可能である」。これにもなり各案(1.2.3)について審議したが、阿部議長により、メーカーより応分の協力をあおいでは、との提案あり、審議の結果

2案の今後の発展を期するため、それにふさわしい会費の値上を実施すべきであった。

値上げについては、月額1,000円、年間12,000円の会費とすべきであるとの案が、圧倒的に多く、2案で進めることとなった。

なお、各地区に確認したところ、出席者だけでは決められないとのことで、各地区に持ち帰り、協会会員に図ることとなった。

なお、会員50万円出資の件については、東京 福山理事より、法的には可能である、との説明あり、了承された。本案については、満場一致で継続審議することを決定した。

(2) 第17回理事会主催協会と開催日時について

東京 小俣 理事

東京の協会が主催で開催することで進められており、開催日時は昭和55年3月上旬を予定している。日時、場所については、東京へ一任する。東京の主催で開催すること。(満場一致 了承)

(4) リース機械のユーザーに対する管理問題について

大阪 岩崎 理事

契約問題と事故問題に関連するもので、ユーザーに貸して、取扱いミスにより事故が発生した場合、種々な問題が発生する。リース業側としては、ユーザーの取扱いミス責任についてである。

契約書には、貸した後はユーザー側に責任があることを入れる様にしてはどうか、結論としては、連合会として、問題点を加味された契約書を作成してはと言うことになり、策定委員会に一任し検討する。

(満場一致 了承)

(6) その他

ア. 大阪、永田 副会長

大阪では、賃貸契約書を全国で以前に作成したものを大阪として印刷し再使用している。全国で早く作成してもらいたい。(了承)

イ. 宮城 石井 監事

管理基準の一部に、リース業者の管理整備済の様な印しを付けてはどうか、との提案(了承)

ウ. 中部 坂井 理事

連合会PR用パンフレットの発行は、業種指定という目玉となるものが入ってから作成してはとの提案(了承)

エ. 出席者一同の意見として

全建リース連で建技協に加入すべきか、ステッカー購入等のため(賛助会員として)、東京の調査委の三瓶氏に調査を依頼する。機種、部数(自主検査票、点検票)の講入のため調査する。

全建リース連が賛助会員として入会した場合、一括購入が出来るか、出来ないかを検討をする。(了承)

11. 青森県協会により八幡馬の贈呈式

青森県建設機械リース業協会より、日本三駒の一つ八幡馬の贈呈があり、阿部議長が贈呈を受けました。(満場拍手)

12. 閉会の辞 大阪 永田 副会長

本日は、全国各地から多数のご出席をいただき有難うございました。また、青森の協会の方々に大変ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

各議案、報告事項につきまして慎重審議をしていただき無事終了することができ喜んでおります。簡単ではありますが、お礼をかねて閉会の言葉とさせていただきます。(5:45)

第17回理事会



1. 日 時 昭和55年3月6日
PM14:10-PM17:00
2. 場 所 静岡県熱海市伊豆山
ホテル水葉亭
3. 参加人員 62名
内訳
理事出席15名、代理8名、委任状7名、監事2名、会員出席19名、事務局2名、賛助会員他16名
4. 司 会 者 東京建設機械リース業協会
副会長 小俣 実
山内会長が昨年7月から病気で入院、手術をされ、現在自宅で療養中ですが、体調がすぐれず出席出来ないため、当番の協会を代表してご挨拶いたします。
本日はお忙しいところ多数ご出賜わり厚くお礼申し上げます。
17団体で、16区地区での理事会が終り、最後の17番目東京の当番となりました。都内新宿でも

との話もありましたが、時間的、交通の便などありまして、皆様おなじみの熱海でということになったような次第です。

今回は、この席上にわれわれの賛助会員の方からも協力をいただきまして、多数ご出席願っております。皆様とも関係あると思いますので、有意義な懇談会になろうかと思っております。なお、会長からも皆様よろしくとのことでありました。

7. 議長選出 松尾司会より、山内会長病欠席のため、副会長の神奈川県建設機械リース業協会会長である中村副会長になっていただきたいとの提案あり、定款により中村副会長を指名。
8. 議長挨拶 議長に指名されました中村です。最後まで慎重審議、検討をいただきたい。
議事録署名人選任

静岡 松井 重雄理事
兵庫 桐月 正邦理事
を選任したいと存じます。
(満場一致 了承)

議長より、山内会長が病欠欠席であり、会長代行として会議の進行についてご協力をお願いします。80年代を迎えて、17団体750社と強固な団結により激変する情勢に直面しても不動の心構えをもつことが必要であると思います。また、労働基準法等による安全衛生管理についての厳しい取締りを強化させることも予想されるなど、山積される諸問題の中、建設業法にもとづく近代化促進法等、その強化と対応していかなければならないと思います。

全国リース連合会10周年の歩んで来た幾多の経験を振りかえり、これを生かして来るべき難局を乗り越えるべく一致団結し、よりよい知恵を出し合い、理解を深めて行きたいと思っております。

本日は、提出された議題にもとずいて慎重な審議を賜わり、第17回理事会の成果をあげていただくよう、よろしくお願いいたします。

9. 議 事 報告事項

(1) (社)全建リース建会員会費増額の件

本部 香取 専務理事
前回、青森県三沢での席上において1000円アップを認められました。この席上でわれわれの一存では決められないので、各地区

へ持ち帰り、さらに役員、会員等と検討の上アップを決定するということでしたが、いかがになりましたか、ここで改めてご審議をお願いします。

宮城県 阿部会長＝一応認められたが、人材確保ということでした。

東京 小俣副会長＝人員を強化するということで持ち帰り検討したが1000円アップは大変だと思ふ。

中部 坂井会長＝重要段階に入っている。どこまで取り組んでいくか。

建設省の人を入れるか、業種指定はどう進んでいくかが議題で、人員を確保して進めていく必要がある。安全法の問題等含めて執行部で前向きに運用していくか、会員の問題で業種指定の問題と取り組む上から、4月をメドにアップしてはどうか。

後藤委員長＝値上げの決定は、人員確保での値上げ目的であった。値上げの根拠が違えば賛成できない。今の段階では、承認されることは考えない。

日本重機 藤井会長＝三沢では人員確保増加ということであった。これが見とおしのつかないことには待つてほしい。業種指定をしとけることで、今すこし審議して足が地についてからにしてほしい。

(2) 中村議長から、値上げ問題は、報告事項1の指定業種指定推進経過について、を先にしてからとの提案あり、その報告に入る。

志茂 推進委員長

業種指定が延期となり、55年度に継続審議されることになったの調査資料、これからの取り組み方について述べると、

(1) 保有台数問題で、重機、転圧機、機械器具、仮設、機械など、700社に分けて出したが、資料にならなかった。

- (2) 5部門に分け、その上代表的機種2～3を抽出して、3年、5年、8年、10年と分担、稼働率と基本統計が不備であった。
- (3) 原価償却年数集計作成。
- (4) 現実に添った実際の資料に不備があった。など、微妙なところで継続となった。

今後、55年度において行政指導も継続していく。力の問題もあったが本年はなんとしてでも指定をとる。皆様の協力をお願いしたい。

日本重機 藤井会長より業種指定の延期について発言があった。

- (1) 調査等についても、対象724社中291社の回答では50%にならない
 - (2) 調査については、計理士に頼んで作成したものを提出した、とかでは話にならない。
 - (3) 現在ありのままの、現実の報告がほしかったのではないかと。無理な点もあったようでもあり、井上、坂野両先生などの力を借りるのが最後の手段ではないかと思う。
- 中部 坂井会長＝建設省の思うように、どんびしゃりとはいかない。全建連の力が足りなかったのではないかと。55年度における業種指定にも影響することにもなろうし、全建連の威信にもかかわることであり、全力をあげてこれに対処しなければならないと思う。

後藤委員長＝本年1月、中村副会長、志茂委員長らと建設省を訪問した時に

- (1) 残念乍ら全建連業界は今回指定されなかった。
- (2) このような業界から指定して行政指導していかねばならない。
- (3) 資料の出し方がおそい。即答できるような、打てばひびく、まじめな答が望めない。今年こそ指定をうけ、皆さんと笑って話が出来るようにしたい。

という話があった。

中村議長より、今後、皆様に協力していただいて、今年こそ指定をうけたいと、協力依頼があった。

(3) 今後の理事会開催方法について

本部
今回の理事会で17回、各地区協会一巡したことになるので、今後は今迄どおり持ちまわりにするか、新加入があった場合、その地区で開催する。東京、大阪やっはとの意見もあり、従来どおりではについては意見がなく、5月の理事会(東京で開催する総会)できめることとなった。

(4) 建設機械資材の管理基準策定推進について、

中部 坂井 会長
日本重機 後藤委員長
後藤委員長＝12月にできる予定がまだできていないことをお詫びする。成案ができているので、今少し待つてほしい。
坂井会長＝今計画中であるが、もりあげ方にも問題もあり、即決で決めたい。
時間がかかると思うが、全建連の管理基準をまとめてほしい。

以上につき全員了承した。

(5) ミニバックホーの各メーカーの操作の統一について

北海道 伊藤 会長
ミニバックホーの各メーカーの操作については、それぞれ工作部門が違っているので大変とは思いますが、なるべく統一したものができないだろう。

ヤンマーディーゼル(株) 野村
現実にマチマチであることは確かである。ミニバックホーのメーカーは17社あり、日本産業機械化協会標準委員会でとりあげ、各社統一にもつていこうという検討はしているが、

安全上で問題があり、メーカーで協議し、使い易くまとめていくことにはなっている。今のところ見通しがたっていないので、もう少ししばらくお待ち願いたい。

中部 坂井会長＝事故防止の点から前向きに考えてほしい。全連建は統一することを希望している。また、大型化はおくれるのではないかと。との質問により、日本重機械後藤委員より、限定などすることなく大型を含んでもらいたい、との要望があり、ヤンマーディーゼル野村氏の説明を了承した。

(6) 会員が他地区に支店又は営業所（出張所を含む）を開設した場合は3カ月以内に当該地区協会に加入の方の申し合わせ、規約を制定し、これが実行に動ずこととされたい。

宮城 石井 監事＝この問題は東京から選出した同業者で、地区協会を乱すような営業行等をし、かつ加入されないことがあったのでこのような議案を出したのであり、今後仲よくやっていきたい。

四国＝四国でもこの問題では困っている。

宮城 阿部会長＝この件については、その後東京から中に入ってもらい入会が決った。同業者として仲よくやってもらいたいと思う。

九州＝3カ月以内とかに限定されると九州では困る。（特に重機の場合）、それに建物ということになると困るのではないかと。

中村議長＝地区地区で協調していただいて仲よくやってほしい。

（満場一致 了承）

(7) 業種指定の促進について

(8) 業種指定申請経過について

志茂委員長の説明にて了承

(8) 建設機械資材の管理基準策

定推進について

中部提案で終了

報・告 事 項

(1) 志茂推進委員長の説明で了承

(2) 特定自主検査対象機種 of 証票枚数調査結果及び建荷協の意向について

東京 三瓶 理事

昨年11月調査を依頼してその結果にもとづいて建荷協古谷課長と打合せ接衝を行なった。

① 建荷協の賛助会員になれるか

② 証票購入方法について（連合会扱いにできるか）一般扱いは検討する。

③ 検査業者を指定したいが何社ぐらいあるか。

④ 検査業者になろうとするものについて、どのように考えているか。

⑤ 建荷協設立に賛同しているか、建荷業出身委員5名位出したい。

など、打合わせ、話合いの結果結論は出なかったが、早急に今一回建荷協を訪問し、古谷課長と話し合う予定である。

(3) 軽油燃料問題実態の調査結果について

中部 坂井 委員長

東京サミット直後、軽油問題をどうするか、トラック業界では緩和されるような指示も出るようなことを聞いた。

リース業界も不安であり、特性にそって考えてもらいたいと折衝した。

軽油問題については、国際的問題でもあり、全連建として昨年7月10日現在で調査依頼した結果、737社中397社の回答があった。50%以上となったものの、特殊をつけるためには、第1回目では根拠がうすいので、第2回目調査を緊急に実施して、前回との比を分析し、集計内容をまとめて根拠あるものとし、次回陳情資料を作成したい。（了承）

(4) 会員名簿作成推進状況について、

中村 議長

予定より若干遅れているが、現在3回目の校正に入っている。4月早々には皆様の元に戻くと思う。賛助会の方々からもご協力をいただいたので、この席を借り厚くお礼申し上げたい。発行部数は2千部の予定なので、予定以上に配分できると思う。

(5) 建設機械器具賃貸業等実態調査経過について

後藤 委員長

3月3日建設省建設機械課において開催された内容の説明があり、資料は後日各地区協会宛送付されるが、概要についてはつぎのとおり。

各地区（地建）を通じて3268社を対象に発送したうち812社の回答があった。そのうち有効（資料としてとりあげたもの）623社、72.3%。当連合会724社中256社回答で35.3%でよい方であった。

なお、会議出席等についても説明あり、資料内容については後日検討することになっている。

資料1部は出席者に回覧した。

更に全連連会費増額の件に戻り、事務局をせめるわけではないが、事務局長はこんな低給でやっていけるだろうか、という意見も出た。これに対し、

(1) 香取専務は、東京の専務理事だったが、全国が出来てその方も兼務することになった。

(2) 前理事会で事務局として、詳しい明るい人とのこともあった。

(3) 東京としてもそれなりに支払いたいのので、大枠を決めてほしい。

(4) 人事問題であり、ここで即答できない。東京の理事他意見も出たが結論は得られな

かった。

(6) 連合会PRパンフレットの作成推進について

坂井 委員長

昨年11月頃には業種指定もできるということで作成は経っているが、これを取りあげなければすぐにでもできるが、業種指定、登録問題が達成してからということであり延引している。完べきなものにするためにはまだまだ延びると思う。業種指定の委員会でもつくり、業種指定が完全にとれてからにしてはということでした承。

(7) 全連連会費増額の件について

特に意見のある発言を求めた。

中村議長＝皆様に了解していただけるなら値上げをして前向きにやっていきたい。

人事のことについても、会議をもうけて決めたい。

連合会専門員を入れるか、前の理事会で建設省、労働省から1名づつ本部にとろうということではなかったか。協会を強化する人があるということに了解を得ている。

値上げも4月から実施してもよいと思う。この値上げは目的があって行なうものとした。前回の理事会で値上げも決まったのに何故今回再提出されたのか了解に苦しむ。賛成していただきたいがどうだろう。

（全員意識なく賛成）

なお、追加発言として2月21日から3月3日まで来日したケナード氏他1名についての見学研修についての報告があった。

新川 東京理事＝業種指定、登録問題にしても、経験の深いベテランでなければいけないと思う。この多い機種、その他業種について明るく詳しい質問に即答できる人が何人いるか。完べきは難かしいと思う。

中村議長＝今年こそ連合会の強化を望むこと大なるものがある。

以上で議案、報告事項の審議、検討、報告のすべてを完了した。

なお、この他の発言事項はつぎのとおり。

- (1) (株) サンティアー(賛助会員)の齊藤係員から、共済制度の確立(災害保償)等について説明
 - (2) 司会者から(株)産業調査会発行の「土木機械辞典」のすゝめについて紹介があった。
- 同書頒布要領は、会員に限り1冊2,160円(定価1冊2,400円)1割引。

なお、理事会開催に先立ち、参議院議員坂野重信先生(全建連顧問)代理杉田秘書と建設省専門委員井上孝先生代理桑垣常任理事2氏の紹介により、両先生の後援方について挨拶があった。

閉会の辞 阿部副会長(宮城)

第17回理事会のために遠路はるばるお集りいただき、長時間にわたり議案の審議、検討を熱心に行なっていただき有難うございました。さらに、業種指定、許認可問題を第1目的として皆様のなお一層の協力をお願いして閉会のご挨拶といたします。
(終了PM5:00)

管理基準策定・企画合同委員会

管理基準策定委員長
後藤 毅

企画委員長
坂井 熙

1. 開催日時 昭和54年6月11日
PM1:30~PM5:00
2. 場 所 全建リース連事務局
3. 会議テーマ 建設機械・資財管理基準基本計画策定推進に関する件
4. 会議出席者 19名

議 事

過日第15回理事会、第6回定期総会(熱海会議)において、(社)全建リース連合会として、労働、安全、衛生法に基く自主検査制度の発効を控え、我々リース・レンタル業者団体としても、近促法・登録制の認許を目前に、自主的に管理基準策定を議決し、その具体的推進について、本日の合同委員会において討議し、前向に取組むことになった。

- (1) 議長選出 山内会長の挨拶に続き議長選出について、坂井企画委員長を本会議の議長とする件を万場了承
- (2) 議長、本会議の運営要領を下記の如く提示す。
 - 1 基準策定に伴う全建リース連プロセスの再確認 20分
 - 2 各地区分担、基準草案について開示説明 50分
 - 3 専門委員会に引継要預及び今後の推進方策 1時間30分
 - 4 建設荷役車両安全技術協会(略称建荷協)の活動並に会報の抜粋について 20分
 - 5 まとめ 20分
- (3) 上記議事テーマに基き審議に入る。
 1. 議長(坂井企画委員長)より、議事テーマ

1.につき、プロセス表に基き説明、特に全建リース連としては、大小多機種にわたり、管理基準の策定作業は仮令専門委員会を充足せしめ、具体的に推進せんとするも、現在の全建リース連事務局の構成では困難であり、担当委員の作業も容易ならざるものが生ずるので、全建リース連としては、単にメーカーのみに依存する考え方に固着することなく、学識経験者並にメーカーの技術を導入する拡大解釈により、資料入手、起案援助、技術説明、講師派遣等により、管理基準の策定に当り、スピードアップと内容充実に資する事が得策であるという説明に対し、万場了承す。

2. 基準策定プロセスに基き、各地区分担機種別草案の説明に入る。

モーターグレーダー(宮城)

管理基準(案)、点検要領(リース業者用)を答申上提し、要旨の説明あり。

当協会は別に技術開発委員会を充足せしめ、技術の向上に資す事業所内教育は、地区労働安全災害防止協会主催による受講、建設機械他協会主催の定期検査説明会が6月26日開かれる。

- フィニッシャーに関しては、当地区に少なきため、建荷協点検表を活用。
- フォークリフト(東京)、ローラー(日本重機)＝建荷協＝講習会点検表＝活用。
- トンネル機械(日本重機)バッテリーローコ、メーカー、業者一体となり整備点検。
- ロッカーショベル(日本重機)自主検査適用機種であり、建荷協点検表。



(社)建荷協にて策定しある点検表は、各機種にわたり準備されている。その活用が手近な方法である。

全建リース連にて既に検討し作成している点検表のユーザーにおける格付について質疑あり。本件について全建リース連としては、労働安全衛生法(第33条)に示す機械の賃貸業者の責任において行なうべき主旨を加味して作成したものであり、自主検査点検表とは、作成に当り若干異なる点あり、従って出荷時の点検が主体となっている。

- ブルドーザー・堀削機(九州)
昭和47年労働安全衛生法によりメーカーにて作成し、指導をしてくれている。始業、月例6カ月、年次検査を行なうことになっている。
- 水中ポンプ(東京)
リース用水中ポンプ修理基準(昭52/7)策定
リース用水中ポンプ修理認定工場制を行なっている
本修理基準の策定については日本建設機械化協会資料活用
- 溶接機(エンチンウエルダー)(東京)
自主検査適用機種に入っていない。全建リース連としては、業務上メーカーと連絡し策定する。
- バイブロ・ハンマー(中部)
点検表案はできている。メーカーに資料の提供と技術的指導により更に充実する。
- コンベアー(大阪)
メーカーの技術部の支援をうけて充実する。
東京も大阪と同様に内容を充実する。
- 仮設資材(大阪)
仮設=業会策定のものを活用する。
仮設材整備(修理を含む)には莫大なテスト機構を必要とするので、当分メーカー依存は

やむを得ない。

- コンプレッサー・発電機(神奈川)
賃貸用ポータブルコンプレッサー、可搬型発電機管理基準案を提示。今後、建荷協、日建機化、協会点検表をも参考とする。

以上管理基準策定プロセスにおける各地区担当、機種別草案の策定作書の現状確認を経るが、議場に次の(社)全建リース連の組織活動に関し重要な問題が提起された。

「今や(社)全建リース連は、近促法、登録制の認許実現の基本的テーマを掲げ、かつ、今回の管理基準策定問題と重なる本質的重要課題を消化するに当り、現状の人材組織で可能なるや?全建リース連の存在価値を左右する転期に立ち如何に対処するか?」

本件は本日の討議課題<テーマ>ではないが、日本経済の今後起り得べき変動を予測し、社会のニーズと使命を達成し、業界に貢献してこそ、我々リース・レンタル業者の存在を許されるという見解が万物に満ち、これが対策として、人材補強は早いほどよい。但し財源の確保の裏付問題を積極的に解決すべきであるので、次回合同委員会・理事会の議決を経ることとなる。

- 3. 専門委員会(先回熱海第17回理事会議決)に企画委員会より引継ぎ要領及び今後の推進方策について、議長は下記の如く構想を提示。
 - (1) 点検表(建設機械化協会・建荷協作成のもの)活用
法適用機種に対し有利に活用できる。
 - (2) 保守(整備+修理)と付帯業務(保管、出荷、取扱指導、搬出入、整備記録、技能教育等)を含有したるものが、全建リース連の管理基準とすべきである。
 - (3) 上記(1)-(2)を満たすために、管理基準に盛り込むべき基本的事項の集約作業を早期にまとめる。

- (4) リース業者として取扱う機種で、自主検査適用外の機種を補促せしめる。

- (5) 上記(1)-(4)の作業のため機種担当別(担当地区)に資料を提出し専門委員会でまとめる。

従って専門委員会は前記(3)全建リース連の管理基準策定の憲法となるべき基本事項の集約に重点を指向し、作業に入るという事で企画委員会より専門委員会に引継ぐ事を万場承認する。

- 4. 建荷協の活動並に会報抜粋については、議長より資料として

- 労働安全衛生法による検査業者登録について(その1)

- 特定自主検査の手びきを配布説明す。
特に建荷協においてもリース・レンタル業の加入に関し門戸を開放している。

- 5. まとめとして

- (1) (社)全建リース連の技能教育能力はどうか?

- (2) 会員が当面する技能者教育のためどうするか?

- (3) 将来、全建リース連の技能強化向上の具体策は何か?

この新たなるテーマを、全建リース連としては、解決にかゝらねばならない。

当面、建設機械化協会、建荷協、都道府県・労働安全災害防止協会等の技能講習に関する情報を本部は積極的に収集し、地区協会に連絡をとり、合理的に処理する。

特に、技能者教育問題は、今後メーカーの技術部に積極的支援を要請して、管理基準の策定を促進し、人材、組織の強化、財源確保と共に前向きに推進するという事を確認了承した。なお、副委員長として東京・三瓶重機車輛(株)三瓶徳司、神奈川・大塚機械(株)水品 潔をそれぞれ選出した。

以上、本日の企画委員会、専門委員会合同会議は熱心な討議により議事を終了した。

その他の主な行事

- 7月6日 管理基準策定委員会を開催
建設省建設機械課 海老原課長補佐の出席を得、①建設機械、資材管理基準計画策定について審議した。
②名簿作成について等。
- 8月22日 合同委員会、策定委員会、企画委員会を開催。場所は連合会会議室
PM1:30~PM5:00まで。
 - ① 第1部 合同委員会
時間PM1:30~2:40
議案
ア 第16回理事会各部会、委員会

- の提案事項の検討について
- イ 次回第17回理事会主催協会と今後の理事会開催方向について
- ウ その他(建設機械消耗部品損耗調査)
- ② 第2部 企画委員会
時間PM2:45~3:15
議案
ア 軽油燃料問題実態調査に関する件 その他
- ③ 第3部 策定委員会
時間PM3:20~5:00

議案

ア 建設機械、資材管理基準策定プロセス(案)による担当地区協会の機種別区分による策定発表審議の件
出席者 21名

9月6日 リース・レンタル業部会を開催した。

(機械化協会)

9月14日 事業内検査者研修実施について打ち合わせ会を開催した。(労働基準局安全課)
9月19日 緊急全国業指定委員会を開催した。議案=9月21日建設省へ提出する資料についての検討。



物価騰勢・料金適正化運動

日本重機械リース業協会
副会長 志茂法人

いま中近東では「風雲」急を告げ、死語となつたの非常時が息を吹き返し、原油の統騰に伴い物価の騰勢、金利の引上げ、公共事業の迎制等々80年代の第1年が、春風に乗って招かざる客「物価値上げ風」となって、われわれの懐を吹き荒すことになった。

公共事業は、物価対策上タガをはめ、伸び悩みと競争激化の要因が増して見通しに明るい材料はないのに加え、経営利益の低下が続くような苦難に直面している。

建設業は、製造業にみるような見込生産はできない、受注生産であり、移動生産である。そして屋外作業で天候次第の生産であることを理解すれば、リース・レンタル業も建設業界の助けを借りずに自前で存立することはできない。

このような事業性格の特質から、リース・レン

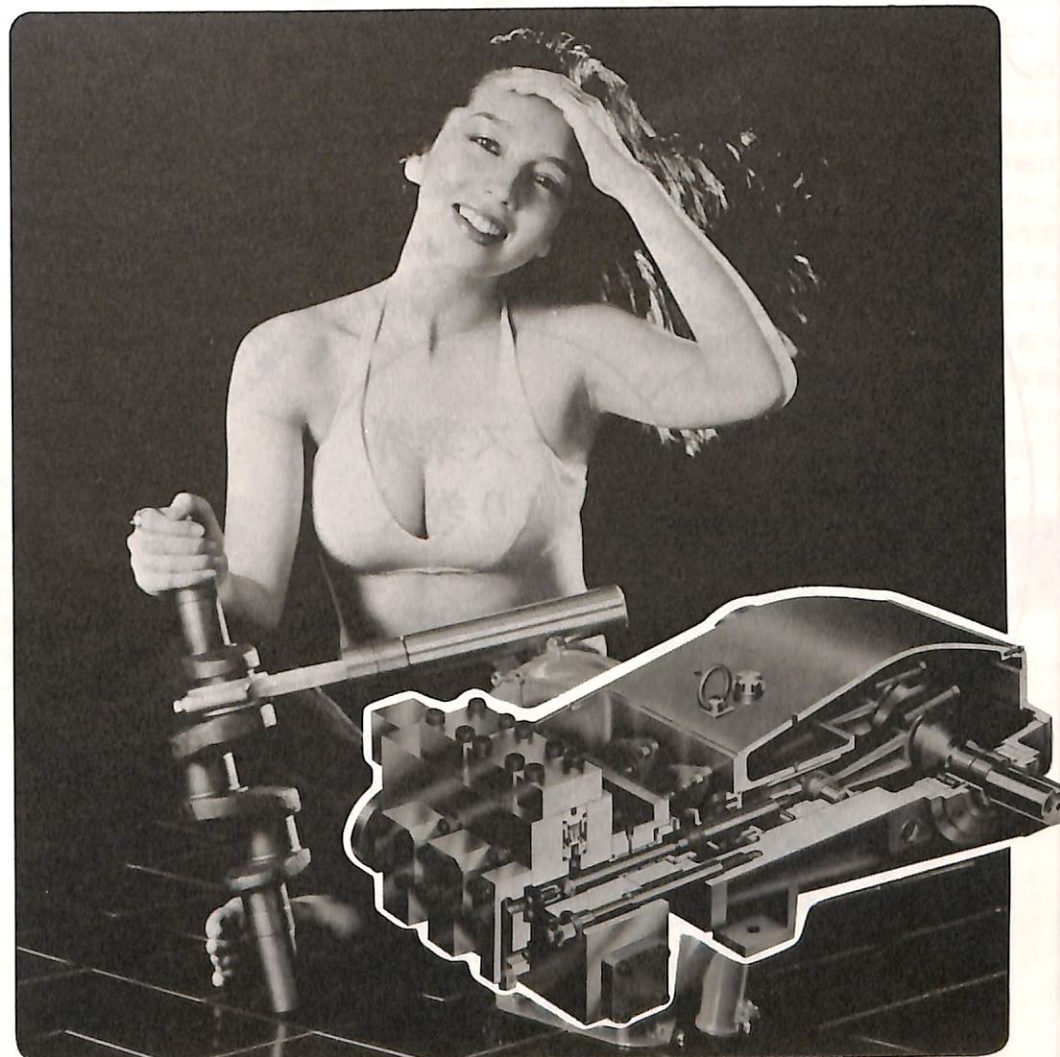
タル業も同様で 建設業の機械の分野において機械施工の原動力となって重要な役割を果たして今日まで協力してきた事を敢えて指摘すると共に、われわれは 企業合理化を計りながらも現状は 限界はギリギリの料金をもって努力している 今日物価騰勢のなかであって、願いは唯一とつ料金の適正な改善である 企業である以上利益の低値に手をこまねいてはもはやいられない。

リース・レンタル業が建設業にとって、ますます重要度が高まる事実をとらえ、苦難打開に理解と協力を得るためには強く実状をアピールして、周囲の状況認識に早く目覚めてもらい料金の改善を採択して両者の共存共栄が達成される了解点が得られるよの最大限の努力を以って、実現を期さなければならない、これが双方にとって喜ぶべきことといえよう。



HYDRO JET-CLEANER
ARIMITSU

(高圧洗浄、掘削、破碎、切断、薬注、高所揚水)



アリミツ ハイドロジェットクリーナー HYDRO JET-CLEANER

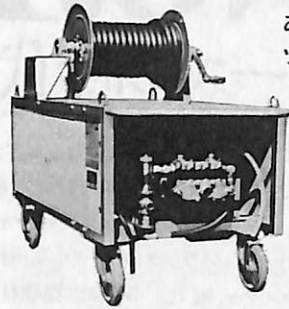


ARIMITSU
有光工業株式会社

本社 〒537 大阪市東成区深江北2丁目3-21
TEL 06(976)8181(大代)
東京出張所 〒101 東京都千代田区神田紺屋町47番地
(新広栄ビル) TEL 03(254)0855(代)
出張所 札幌・仙台・大宮・松本・福岡

●確かな技術で半世紀

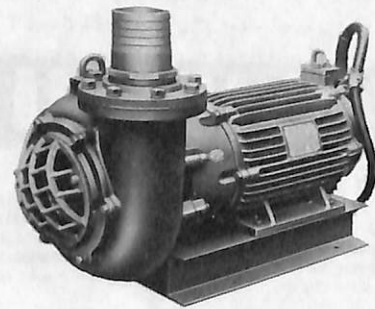
ビル・河川・橋梁建設工事から、
地下鉄・上下水道・トンネル工事まで……
あらゆる水処理に欠かせない
ツルミの建設用ポンプ



HPJ型
〈高圧洗浄用〉



WB型
〈底水・残水排水用〉



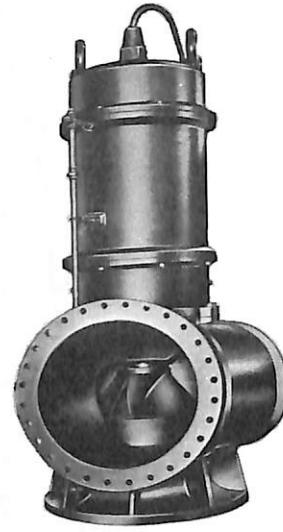
SHD型
〈サンド用〉



HY型



KRS型



B型

〈 一 般 排 水 用 〉

■ライフチェッカー

水中ポンプの使用時間が
一目でわかる!



HY・KRS・KTV型に内蔵

建設現場の良きパートナー

株式会社 鶴見製作所

大阪本店 〒538 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号 ☎(06)911-2355

東京本社 〒110 東京都台東区台東4-27-4(アイdeal第5ビル) ☎(03)833-0331

ツルミインダストリアル株式会社

〒550 大阪市西区南堀江大通り5-15 ☎(06)541-8336

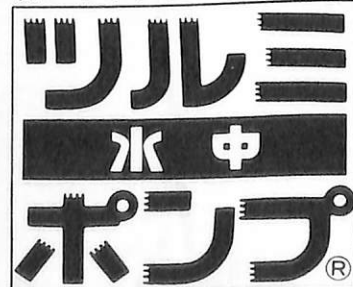
株式会社 ツルミポンプ

東京本社 〒110 東京都台東区台東4-27-4(アイdeal第5ビル) ☎(03)833-9765

全国63営業拠点
車で2時間の
ネットワークサービス

東京(支) (03)833-0331	中部(支) (052)481-8181	四国(支) (0878)43-5133
北海道(支) (011)731-8385	大阪(支) (06)911-2351	九州(支) (092)431-0371
東北(支) (0222)94-4107	中国(支) (0822)93-4481	全国主要都市63営業所

省エネポンプの明日を開く



会員名簿 (昭和55年5月1日現在)

社団法人全国建設機械リース業連合会

会長 山内 鹿蔵

事務局 東京都千代田区神田駿河台2-1

近江兄弟社ビル4F

〒101 電話03(293)7273~4

会 員 名 称	代表者名	事 務 局 所 在 地	電 話	〒
北海道建設機械リース業協会	伊藤 鉄雄	北海道札幌市中央区大通り東3丁目 (株)大鉄内	011-241-5086	060
青森県建設機械リース業協会	高橋 弘一	青森県青森市港町1-7-1 (株)高重組内	0177-41-6531	030
宮城県建設機械リース業協会	阿部 喜平	宮城県仙台市福室宇高砂駅東17宮城県建設機械中古市場内	0222-59-0631	980
福島県建設機械仮設リース業協会	坂本 市郎	福島県郡山市富田町字向館121-23	0249-52-0588	963
東京建設機械リース業協会	山内 鹿蔵	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03-294-4071~2	101
日本重機械リース業協会	藤井 孝治	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03-295-1820	101
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	神奈川県横浜市平沼1-2-23 中村ビル	045-322-0613	220
静岡県建設機械リース業協会	松井 重雄	静岡県浜松市安間町264-1 大興産業(株)内	0534-21-1131	435
静岡県重機建設業協会	近藤 憲一	静岡県静岡市下川原6-24-14	0542-59-7542	421-01
中部建設機械リース業協会	坂井 照	愛知県名古屋市西区藤ノ宮通り3-43 小出ビル内	052-571-2080	451
石川県建設機械リース業協会	吉川 義孝	石川県金沢市元菊町14-10 (株)ケンシン内	0762-33-1217	920
福井県建設機械リース業協会	松田 確太郎	福井県福井市下河北町一字町永25-1 ケンキリース(株)内	0776-38-1580	919-03
大阪建設機械リース協同組合	永田 仁作	大阪府大阪市浪速区桜川3-1-12 脇田第1ビル内	06-562-1987	556
兵庫県建設機械リース業協同組合	桐月 正邦	兵庫県神戸市生田区多聞通り3-5 甲南スカイビル4F316号	078-361-2481	650
中国建設機械リース業協会	野口 誠輔	広島県福山市曙町3丁目252-2 富野機工(株)内	0849-53-3033	720
四国建設機械リース業協会	松井 貢	香川県高松市春日町795 (株)田中鉄工所内	0878-41-2105	761-01
九州建設機械リース業協会	林田陽一郎	福岡県福岡市東区箱崎7-1-124 西鉄(株)建機営業部内	092-631-1331	812

編集後記

昭和55年度の第1回目の会報(春季号)を皆様のお手許にお届けします。

新しい年は、これ迄にも増して多難な年となるであろうことが予想されますが、われわれにとっては、今迄にない夢多い年になることが期待されます。それは、連合会があげて望んでいた業界の業種指定、登録制度の実施が手の届くところ迄来たという感触があるからであります。

その経過については、第16回理事会、第17回理事会、あるいは管理基準策定委員会ならびに企画委員会の合同委員会の議事録のなかにもとりあげられております。

関係者諸兄のご努力によりとうとうここまで来たのだ、という感慨で編集子も胸一杯のものがあります。この後記を借りて皆様のご努力に対し厚くお礼申し上げる次第です。

ところで、編集面では、前述の議事録のみ記載ということになり、いささか淋しく、お読みいただく身にとってはじくじたるものがあります。

お詫びしておきます。

会報の内容の貧しさは、編集子の不勉強にもとづくものが大ですが、会員各位のご協力もまだ不なのではないかと、思います。本部事務局からのご寄稿依頼がなくとも、会報は年2回必ず発行されるものとお考え下され、時にふれ折にふれ、地区協会の動きあるいは行事などをご送稿下されば、

会報編集に携さわるものとしてはこれに過ぎる喜ではありません。

難かしい年にあたっての企業の経営あるいは協会のお仕事に追われる皆様の多忙さは想像にかたくありませんが、それを押して、会報をよくするためのお願いを申し上げる次第です。

連合会副会長・広報委員長
中村 憲



事務局よりお願い

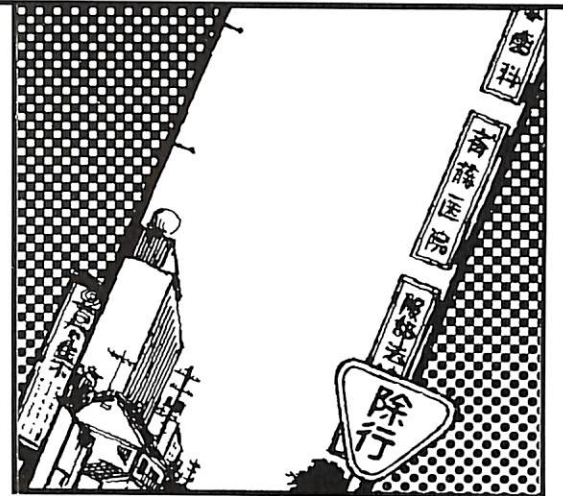
事務局から3項目程お願い致します。

1. 地区の協会、組合員中に慶弔が御座いました折は、本部事務局まで御連絡下さい。慶弔電を発電したいと存じます。
2. 各種の調査に御協力方を御依頼申し上げますが、期日までに御回答頂けますようお願い申し上げます。
3. 会員の皆様(地区)の住所、電話番号、その他の移動がありました節は、夫々の地区協会・組合にご連絡を頂き、協会・組合事務局はとりまとめ本部事務局に御一報下さい(資料訂正のため)。

会報 第14号春季号

発行/昭和55年6月10日、発行者/(社)全国建設機械リース業連合会
東京都千代田区神田駿河台2-1近江兄弟ビル4F(〒101) TEL03(293)7273~4
発行責任者/広報委員長 中村 憲
制作/ノダ企画・東京都文京区湯島1-11-14共和ビル(〒113) TEL03(815)3640

充実する **デンヨーエンジンコンプレッサー**



こまわりのきく行動派。 "青い小さな防音型" 新エンジンコンプレッサー



青いエンジンコンプレッサーとして好評の、デンヨーPCシリーズにまたひとつ新機種が加わりました。

小型・軽量のDPV-45SS。このクラス初のベーンロータリー型です。小型機にベーンロータリーのすぐれた特性を生かしたというだけでなく、使いやすさの工夫を各所に採用したコンパクト設計ですから運搬にも便利で、とくに狭い場所での作業に真価を発揮します。

この他にも、デンヨーならではのいくつかの特長もっています。たとえば――

- 独自の防音設計……騒音レベルを下げるほか耳ざわりな不快音を除去した静かなコンプレッサーです。
- 保守点検が簡単……ムダのない合理設計ですから日常の整備点検が容易です。
- 維持費が安い……高精度の構造なので吸入馬力にロスがなく、維持費が大幅に節約できます。
- アフターサービスも充実……全国各地のサービスセンターで部品の補充、チェックなどアフターサービスが受けられます。

このように、DPV-45SSは安心してご使用いただける“高性能、耐久性抜群”の新製品です。

新製品 / DPV-45SS

仕様(コンプレッサー)ベーンロータリー型 ●常用圧力7kg/cm² ●吐出空気量1.3m³/min ●回転数2700rpm ●潤滑方式 強制潤滑 ●潤滑油量10ℓ ●空気槽容量0.019m³(19ℓ)(エンジン)クボタD850-3気筒4サイクル ●総排気量855cc ●定格出力17.6ps / 2700rpm ●燃料タンク19ℓ(大きさ)L1530×W745×H1000mm(重量)490kg

デンヨー株式会社

本社 / 〒164 東京都中野区上高田4-2-2 TEL(03)389-3111(代表)
支店営業所 / 札幌・奥羽・仙台・新潟・東京・北関東・横浜・静岡・名古屋・金沢・京都・大阪・広島・高松・福岡・南九州 出張所 / 全国40都市

独自の技術でリードする…

最もコストパフォーマンス
に秀れた

エアマン

〔新製品〕

ニューロータリーコンプレッサー
PDR-50S型(1.4m³/min)



このクラスでは最も小型・軽量・低騒音、メンテナンスフリーで経済的。

〔新製品〕

ニュースクリュウコンプレッサー
PDS-125S型(3.5m³/min)



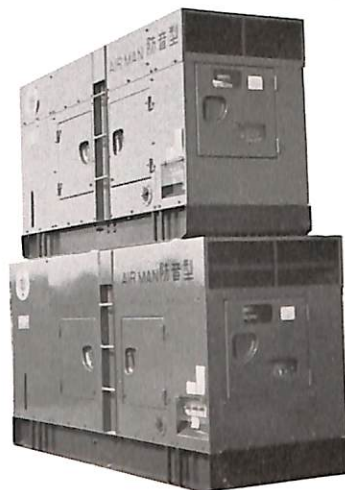
抜群の耐久性で低燃費、3年間で約100万円を節約する省エネルギー型。

防音型 ポータブルコンプレッサー

●15PS(1.4m³/min~34.0m³/min)

防音型 ディーゼル発電機

●12KVA~450KVA



2段積可能

防音型

エンジン溶接機

PGW-130S

PDW-200S

PDW-230S

PDW-250S

PDW-270S



北越工業株式会社

新潟本社・工場 ●新潟県西蒲原郡部分水町大武新田113-1 ●TELEX3193694エアマンニイカタ ●TEL (02569)7-3201(大代) ●〒959-01
東京本社・支店 ●東京都新宿区西新宿1-22-2新宿サンエービル ●TELEX2324042AIRMAN ●TEL (03)348-8561(大代) ●〒160

大阪支店 ●大阪府摂津市新在家2丁目3番13号 ●TELEX5236912エアマンオオサカ ●TEL (06)349-3631(大代) ●〒564

営業所 ●札幌/盛岡/仙台/郡山/新潟/宇都宮/高崎/千葉/横浜/松本/静岡/名古屋/金沢/京都/高松/広島/岡山/福岡/鹿児島/大分/沖縄